

博物館

1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2. 施設の概要

- ・名称 四日市市立博物館
- ・所在地 四日市市安島一丁目3番16号
- ・設立年月日 平成5年4月1日
- ・開館年月日 平成5年11月1日
- ・丹羽文雄記念室オープン 平成18年12月9日
- ・リニューアルオープン 平成27年3月21日
- ・敷地面積 1,845.840 m²
- ・建設面積 1,590.397 m²
- ・延床面積 10,147.108 m²
- ・建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下2階、地上6階
- ・主な室名と面積

展示・教育部門	2,202.065 m ²
常設展示室	2 F 658.364 m ²
常設展示室	3 F 548.291 m ²
特別展示室	4 F 594.798 m ²
ラウンジ	4 F 93.674 m ²
図書スペース	1 F 86.350 m ²
講座室	1 F 142.218 m ²
研修・実習室	1 F 78.370 m ²
収蔵部門	1,256.230 m ²
収蔵庫①	B 2 F 243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F 38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F 282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F 384.496 m ²
収蔵庫②③前室	B 1 F 76.086 m ²
荷解室	1 F 231.308 m ²
研究部門	420.165 m ²
作業室	2 F 50.422 m ²
資料整理室	B 1 F 84.370 m ²
文献資料室	3 F 37.952 m ²
資料評価室	4 F 33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F 43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F 87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F 16.882 m ²
第2会議室	4 F 37.952 m ²
第3会議室	3 F 28.707 m ²
プラネタリウム部門	1,714.282 m ²
客室（ドーム）	5 F～6 F 565.017 m ²
コズミックラウンジ	5 F 59.081 m ²
コズミックギャラリー	5 F 194.763 m ²
ブリーフィングルーム	5 F 59.326 m ²



空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門		4,554.366 m ²
事務室	3 F	105.059 m ²
事務室	2 F	60.464 m ²
第1会議室	2 F	37.001 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品室など		3,531.901 m ²

- ・プラネタリウム仕様
 - ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20度）
 - 座席 144 席（遮音室 8席）
 - 光学式投映機 ケイロン 401
 - デジタル式投映システム パーチャリウム V
 - 全天周映画 可能

3. そらんぼ四日市

博物館と併設の四日市公害と環境未来館は、「そらんぼ四日市」の総称のもと、市民に親しまれ、本市のイメージを発信する一体感のある事業展開を図っている。

常設展示は、原始・古代から近世までの各時代の特徴を象徴する建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につながる、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場としている。

プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境について投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場としての特色を持ち、市内外から多くの観覧者が訪れている。

博物館・プラネタリウムと四日市公害と環境未来館は、過去から現在そして未来へという時間軸と、四日市から日本、世界・地球そして宇宙へという空間軸を自在に交差させ、立ち位置や見方、考え方を考えることで、未来のまちづくりを市民一人一人が考えることができる場となることを目指している。

令和5年3月に開館以来の総観覧者数 300 万人を達成した。

4. 展示等事業

(1) 常設展

・時空街道

四日市のあゆみのうち、原始・古代から江戸時代までを博物館で展示し、明治以降は2階の四日市公害と環境未来館で展示するため、両館の展示が一体的な時代の流れにあることを理解できるよう、展示テーマを「四日市のまちの発展と人々の暮らしの変化」とした。

時空街道では、各時代を特徴づける原寸大の建物を再現し、観覧者自身が時代の雰囲気や、社会の変化の流れを体感できるような構成としている。映像や照明による一日の時間や季節の移り変わりを感じられるほか、スマートフォンやタブレット端末を利用した展示解説や、解説シート、ボランティアとの対話の中から得られる説明など、資料の理解を促す方法も選べ、何度訪れても学べる工夫をおこなっている。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務めた功績などを展示している。

また、二十数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現している。

開館日数 169日 観覧者数 26,924人

(2) 特別展・企画展

① 創業200周年記念 フィンレイソン展 ～フィンランドの暮らしに愛され続けたテキスタイル～			
会 期	4月16日(土)から 6月5日(日)までの45日間		
観 覧 料	一般1,000円 高・大生500円		
観覧者数	5,945人		
関連行事	4月16日(土)	記念講演会 「Moi! フィンレイソン」	今泉幸子 (アンドフィーカ代表取締役)

② 昭和のくらし 昭和のおもちゃⅡ			
会 期	令和5年2月11日(土・祝)から 3月12日(日)まで26日間		
観 覧 料	一般400円 高・大生300円		
観覧者数	7,569人		
関連行事	2月12日(日)	「むかしの道具を使ってみよう」	野口裕 (当館職員)
	3月5日(日)	「昭和のあそび」	

③ 共催展 「第64回北勢地区高等学校美術展」			
会 期	令和5年3月21日(火・祝)から 3月26日(日)までの6日間		
観 覧 料	無 料		
観覧者数	703人		
関連行事	3月25日(土)	ワークショップ	

(3) 学習支援展示・特別陳列

学習支援展示		観覧者数 15,454人(4年度分のみ)
名称	会期	場所
① ようこそ！ 時空街道展	3月15日(火)～ 5月5日(木・祝)	白里亭
② 四日市空襲と 戦時下のくらし	6月14日(火)～ 8月31日(水)	白里亭 3F ロビー 2F 常設展一部

特別陳列		観覧者数 10,549人(4年度分のみ)
名称	会期	場所
① 館藏品展 I 新収藏品展	5月14日(土)～ 6月5日(日)	白里亭
② 共催展 「四日市代官 所跡出土品展」	令和5年2月11日(土・祝)～ 3月12日(日)	白里亭
③ 館藏品展 「牧野富太郎が 見た四日市」	令和5年3月18日(土)～ 5月7日(日)	白里亭

5. 教育普及事業

(1) 子ども博物館教室

①ワークショップ(全4回)

参加者数 92 人 [場所: 講座室ほか]

6月19日(日)	四日市空襲を語り継ごう	博物館ボランティア、野口裕(当館職員)
7月3日(日)	七夕かざり	野口裕(当館職員)
8月7日(日)	バックヤードツアー	
令和5年2月19日(日)	ひな祭り	

②親と子のプチワークショップ(全1回)

参加者数 52 人 [場所: 講座室]

7月18日(月・祝)	絵の具で遊ぼう!	野口裕(当館職員)
------------	----------	-----------

(2) 一般向け講座

①館長講座「日本画家研究Ⅲ」(全4回)

参加者数 83 人 [場所: 講座室]

4月30日(土)	川合 玉堂 ～日本の風景画論～	吉田俊英 (当館館長)
5月28日(土)	菱田 春草 ～「日本画」 確立期の天才～	
6月25日(土)	竹内 栖鳳 ～西の巨匠～	
7月30日(土)	土田 麦僊 ～東西美術の 融合をめざして～	

②大人の社会科(全2回)

参加者数 15 人 [場所: 講座室ほか]

4月29日(金・祝)	大人の勾玉	野口裕 (当館職員)
5月22日(日)	バックヤードツアー	

(3) 時空街道ツアーex(全4回)

4がつく曜日・祝日に体感型常設展「時空街道」(四日市公害と環境未来館含む)及びプラネタリウム番組を案内する「そらんぼ四日市」のコンセプトツアーを実施した。ツアーを通して、私たちの暮らしと環境の関係を四日市から日本、世界、地球、宇宙に広げて考えてもらうことを目的としている。

参加者数 49 人 [場所: 常設展示・プラネタリウム]

4月24日(日)	博物館ボランティア、野口裕(当館職員)、北原里穂(当館学芸員)
5月4日(水・祝)	
7月24日(日)	
8月14日(日)	

(4) 子育て支援事業(全7回 9:30~12:00)

毎月第3日曜日の三重県「家庭の日」にあわせ、幼児や赤ちゃんと展覧会をゆっくり見られるように授乳室などの環境を整えた日時を設定した。

参加者数 162 人 [場所: 特別展示室・常設展示]

ベビーカーDAY	4月17日(日)・5月15日(日)・ 6月19日(日)・7月17日(日)・ 8月21日(日)・令和5年2月19日・3月19日(日)
----------	---

(5) 出前講座等(計19回)

参加者数 481 人 [場所: 市内外各所]

演題	回数	人数	講師
心を包む風呂敷	3	54	野口裕 (当館職員)
東海道と四日市宿	3	102	廣瀬毅 (当館副館長・ 学芸員)
伊勢参宮と四日市	5	78	
奇跡がつないだ 光太夫の帰国	5	97	
世間はアートに 満ちている	1	19	吉田俊英 (当館館長)
特別展「フィンレイソ ン」特別講座	1	11	齋田明里 (当館職員)
四日市の歴史	1	120	千田佑香 (当館学芸員)

(6) 講座番組放送

博物館への来館が困難な方へ当館の活動を広く知っていただくことを目的に、教育普及の一環として一般向け講座を収録し、CTYにて放送した。

令和5年2月19日(日)	描かれた東海道 と四日市宿 (90分)	廣瀬毅 (当館副館 長・学芸員)
3月5日(日)		
3月12日(日)		
3月19日(日)		

(7) 実習・研修の受入

①博物館実習

8月20日(土)～8月28日(日)のうち5日間

12大学15人受入

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講義形式は一斉に、実技形式は2班に分けて実施。

②学校教員研修

月	内容	人数	担当
7月～8月	社会体験研修	9人	野口裕(当館職員)
7月28日	体験的博物館講座	10人	
計8日		19人	

③中学生の職場体験

月	校数	人数	担当
5月	1校	2人	野口裕、赤松一秀、千田佑香、齋田明里、森拓也、森山翔太、中原暁美(企画普及係職員、学芸員) 伊藤達郎、北原里穂(天文係職員、学芸員)
6月	3校	6人	
延12日	4校	8人	

(8) ボランティアとの協働

①博物館ボランティア

登録者数 33人 延べ活動者数 862人

②丹羽文雄記念室語り部

登録者数 6人 延べ活動者数 0人

③古文書ボランティア

登録者数 8人 延べ活動者数 88人

6. 資料収集保存事業

(単位：件)(令和5年3月末現在)

1 人 文 学 資 料	区	分	実物・標本	模型・複写
	(1)考古			1,437
(2)美術工芸			4,975	25
(3)民俗			5,880	17
(4)歴史			11,298	60
(5)文学			4,920	8
	計		28,510	135
2 自 然 科 学 資 料	区	分	実物・標本	模型・複写
	(1)動物資料			0
(2)植物資料			4,258	0
(3)地学資料			131	4
(4)理工学資料			0	0
(5)天文資料			7	0
(6)その他の資料			2	0
	計		4,398	4

7. 調査研究事業

(1)研究成果発表(当館ホームページにて公開)

富田、小向の名物「焼蛤」に関する考察	廣瀬毅(当館副館長・学芸員)
令和4年度お月見どろぼう調査報告書 四日市市内部地区におけるお月見どろぼうの 実地調査―類似行事としての亥の子・十日夜の調査と併せて―	北原里穂(当館学芸員)

(2)メディア出演

放送日	放送局	番組名	出演職員
8月1日(月)～ 8月15日(月)	CTY CNS	まほろば あの日を忘れない 四日市空襲の悲劇	野口裕 (当館職員)
9月1日(木)～ 9月15日(木)	CTY CNS	まほろば 戦時下の暮らしと教育 いびつな学びの形	
10月1日(土) ～10月15日(土)	CTY CNS	まほろば 絵画資料から読み解く 往年の四日市祭	廣瀬毅 (当館副館長・学芸員)
令和5年 2月25日(土)・ 3月3日(金)	NHK 総合 テレビ	チョコちゃんに叱られる なぜ羽田に空港がある?	

8. プラネタリウム放映事業

(1)季節番組

季節ごとに2種類(一般番組、ファミリー番組)の番組を放映した。また、各番組1回字幕付き放映を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日(金)から4月3日(日)までファミリー番組を一般番組に変更して放映した。座席数は当初昨年度に引き続き70席に制限して放映していたが、7月9日(土)より140席に制限を解除した。

<春番組>

①ファミリー番組「ハローキティ トゥインクル☆ムーンライト」	
②一般番組「宇宙交響曲 138億年をめぐる旅」	
放映期間	3月8日(火)～6月5日(日)
観覧者数	①3,558人 (4/1～6/5) ②2,452人 (4/1～6/5)

<夏番組>

①ファミリー番組「忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆NEXT やっぱり地球は回っていたの段」	
②一般番組「まだ見ぬ宇宙へ」	
放映期間	6月14日(火)～8月31日(水)
観覧者数	① 6,463人 ② 5,514人

<冬春番組>

①ファミリー番組「クレヨンしんちゃん 宇宙からの来訪者 カスカベ大パニック」	
②一般番組「いのちを探して ～コズミッククルーザーで行く金星・木星～」	

放映期間	令和5年2月11日(土・祝)～6月4日(日)
観覧者数	① 5,080人 (2/11～3/31) ② 1,832人 (2/11～3/31)

(2) 特別番組

① 夜間特別番組 (毎週土曜日 18:20～19:15)

土曜日の夜間特別開館に合わせて放映した。また、各番組1回字幕付き放映を実施した。

L I F E いのち『うまれる』ことを再体験	3月12日(土)～6月4日(土) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月2日放映中止。 観覧者数 276人
星になるまで ～music by ACIDMAN～	6月18日(土)～8月27日(土) 観覧者数 559人
ヒーリングアース	令和5年2月11日(土・祝)～ 6月3日(土) 観覧者数 350人 (2/11～3/31)

② 幼児番組

毎月第3日曜日の三重県「家庭の日」に開催しているベビーカーDAYにあわせ、10:05と11:20の2回放映した。(放映回のファミリー番組は中止)。それに加えて4月8日以降の金曜日、GWは10:05の回を放映した。

観覧者数 1,758人

はじめての プラネタリウム 「くまのがっこう ～ジャッキーの おほしさま～」	4月8日・15日・22日(金)・29日 (金・祝)～5月5日(木・祝)・4月 17日・5月15日・6月19日・7月17 日・8月21日・令和5年2月19日・3 月19日(日)
--	---

③ 環境番組

毎月4のつく日曜・祝日に開催している「時空街道ツアーex」参加者向けの当館オリジナル番組を放映した。(放映回の一般番組は中止)

観覧者数 170人

時空街道ツアーex 宇宙から見た地球	4月24日(日)・5月4日(水・祝)・ 7月24日(日)・8月14日(日)
-----------------------	--

(3) 学習放映 (団体利用放映)

- ・ 保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校、高校等の団体対象 (事前申込みが必要)
- ・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による体験型の学習用プラネタリウム
- ・ 四日市公害と環境未来館と連携して、小学校5年生を対象に環境学習プログラムを放映
- ・ 企画展 (学習支援展示) に関する学習プログラムを放映

天体学習プログラム	80回	3,333人
環境学習プログラム	12回	626人
学習支援展示学習プログラム	5回	378人
合計	97回	4,337人

<季節番組・特別番組(夜間特別番組)・学習放映の放映時刻>

平日	学習 9:50	学習 11:00	学習 13:15	一般 14:20	ファミリー 15:35	
土日祝 学校長期 休暇期間	ファミリー 10:05	ファミリー 11:20	一般 13:05	一般 14:20	ファミリー 15:35	土曜 夜間 18:20

※季節番組及び特別番組(夜間特別番組)は入場も含めて約55分間。学習放映の天体学習は約45分間、環境学習は約30分間、学習支援展示学習は約30分間と約45分の2種。

(4) プラネタリウムイベント

① 宇宙塾 (18:20～20:00)

7月2日(土)	アルマ望遠鏡 が見た 最深の宇宙	55人	平松正顕 (国立天文台 天文情報セ ンター(周波 数資源保護 室))
令和5年 3月4日(土)	木星で探す いのちの可能性	46人	木村智樹(東 京理科大学 理学部第一 部物理学科 准教授)

② 特別企画 (18:20～20:00)

8月20日(土)	プラネタリウム コンサート 「ジャズライブ コンサート」	140人	演奏者 森谷ワカ 早川ふみ
----------	---------------------------------------	------	---------------------

(5) その他放映 (観覧者数としてカウントしない)

- ① 研修・視察等に関する放映 2回 198人
- ・ 8月10日(水) 全国中学校理科教育研究会 25人
 - ・ 10月21日(金) 東海市長会 173人

9. 天文教育普及事業

移動天文車「きらら号」を使った観望会やコズミックスクールでの科学工作など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

(1) 移動天文車「きらら号」事業

大型天体望遠鏡を載せた移動天文車「きらら号」による星空観望会を天文ボランティアの方々と協働で実施した。

①派遣事業

要請により市内各地へ「きらら号」を出動し、観望会を行った。

稼働予定回数 28回 (実施:16回、天文教室:6回、中止:6回)	参加者数 1,762人 ボランティア数 延べ81人
--------------------------------------	------------------------------

②主催事業

[場所:市民公園(博物館前)]

稼働予定回数 14回 (実施:7回、中止:7回)	参加者数 504人 ボランティア数 延べ51人
-----------------------------	----------------------------

内訳		
4月23日(土) 19:30~21:00	春の星をさがそう	天候不良のため 中止
5月28日(土) 20:00~21:30		30人
6月25日(土) 20:00~21:30	夏の星をさがそう	天候不良のため 中止
7月30日(土) 20:00~21:30		75人
8月27日(土) 19:30~21:00	土星を見よう	天候不良のため 中止
9月10日(土) 20:00~21:30	中秋の名月を見よう	96人
9月24日(土) 19:30~21:00	木星・土星を見よう	109人
10月22日(土) 19:00~20:30		66人
11月26日(土) 19:30~21:00	火星を見よう	41人
12月24日(土) 18:00~19:30	火星・木星・土星を見よう	天候不良のため 中止
令和5年 1月28日(土) 18:00~19:30	月と火星・木星を見よう	天候不良のため 中止
2月25日(土) 19:00~20:30		87人
3月25日(土) 19:30~21:00	冬の星雲・星団を見よう	天候不良のため 中止
3月26日(日) 11:00~13:00	太陽を見よう	天候不良のため 中止

(2)公開観望会(移動天文車「きらら号」出動なし)

8月6日(土) 17:00~17:45	天文学芸員による星空散歩 ~半月を見よう~	29人
8月13日(火) 19:30~21:00	夏の星空観望会	天候不良のため 中止
11月8日(火) 18:30~21:00	皆既月食と天王星食観望会	150人
12月14日(水) 19:00~21:00	ふたご座流星群観望会	80人

[場所:伊坂ダムほか]

(3)コズミックスクール

5月5日(木・祝) 11:00~11:30 11:45~12:15	風船ヘリコプターを つくろう	40人
8月7日(日) 13:30~16:30	天体望遠鏡を作って 月の観察をしよう	31人

(4)楠歴史民俗資料館「夏の夜間特別開館」工作教室

参加者数20人

5月28日(土)14:30~16:00	月齢早見盤を作ろう!
---------------------	------------

(5)夏季教職員研修講座(天文教育研修)

参加者数38人

8月22日(月) 9:00~12:00	おもしろ天体授業 inプラネタリウム~太陽の色は何色?~	川上紳一 (岐阜聖徳学園 大学教育学部 教授)
------------------------	---------------------------------	----------------------------------

※小・中学校教員対象

(6)学校連携

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プラネタリウムの座席数を70席に制限していたことから、市内中学校の3年生を対象に、夏休みのプラネタリウム番組を学習として活用できる学習参加券(無料観覧券)の配付を希望校のみ、かつ夏休み期間のみの利用に限って再開した。

※希望校:全校(22校)

配付枚数:2,531枚 利用枚数:1,396枚 利用率:55%

(7)JAXA連携事業 四日市子ども科学セミナー

参加者数25人

7月23日(土) 9:30~12:30	コズミックカレッジ 「あつまれ!宇宙大好きキッズ~水ロケットづくりに挑戦~」in四日市	熊谷尚人(日本宇宙少年団あいち・名古屋分団副分団長)
------------------------	--	----------------------------

※小学3~6年対象

(8) ガリレオ教室 (各日2回実施)

天文ボランティアと協働し、毎月第2日曜日に開催した。
参加者数 182 人

4月10日(日)	Mitaka で探る深宇宙
5月8日(日)	宇宙望遠鏡ってなに？
7月10日(日)	君も宇宙飛行士になろう
8月14日(日)	夏の星座を知ろう
令和5年2月12日(日)	今年注目の天文現象
3月12日(日)	彗星のひみつ

※6月・9月～令和5年1月は整備休館のため中止

(9) 天文ボランティア支援事業

天文ボランティアが主体的に実施する事業を支援する。

- ①天文ボランティア学習会 (全10回実施)
- ②天文ボランティア主催観望会 (全1回実施)
- ③天文ボランティア工房 (全7回実施 参加者 320人)

10. 開館時間等

開館時間 午前9時30分から午後5時まで

(ただし展覧会への入場は午後4時30分まで)

※毎週土曜日は夜間特別開館として1階・5階のみ、午後7時30分まで開館。

休館日 月曜日 (休日の場合は翌平日)

ただし、5月2日(月)、8月15日(月)は開館

整備休館 6月6日(月)～13日(月)

9月1日(木)～令和5年2月10日(金)

※空調設備等更新工事に伴い、9月1日(木)～令和5年2月10日(金)まで休館。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

※4月2日(土)の夜間特別開館を中止した。

※4月1日(金)～4月3日(日)までプラネタリウムファミリー番組を一般番組に変更し放映した。

※7月9日(土)からプラネタリウム座席数の制限を解除した。(70席→140席)

※日本博物館協会策定のガイドラインを基に、展示室混雑時の入場制限、プラネタリウムの座席制限、1階トランスの通行制限、館内のアルコール消毒、来館者の検温・手指消毒・連絡先の記入、COCOA及び安心みえるLINEの推奨を行った。

観覧料金

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	550円	その都度定める額
高・大生		390円	
小・中生	無料	210円	

※有料20名以上の団体は2割引

※博物館常設展示は無料

施設利用

	9時30分～12時	13～17時	9時30分～17時
特別展示室 595㎡	—	—	33,000円
講座室 142㎡	8,800円	13,200円	22,000円

11. 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月 計
	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	回数	観覧者数	
4月	26日	2,118	13日	1,395	26日	90回	2,628	6,141
5月	27日	3,927	27日	3,485	27日	108回	4,366	11,778
6月	20日	3,203	5日	1,065	20日	93回	3,691	7,959
7月	27日	4,443	0日	0	27日	134回	5,599	10,042
8月	27日	5,750	0日	0	27日	139回	7,365	13,115
9月	0日	0	0日	0	0日	0回	0	0
10月	0日	0	0日	0	0日	0回	0	0
11月	0日	0	0日	0	0日	0回	0	0
12月	0日	0	0日	0	0日	0回	0	0
4年1月	0日	0	0日	0	0日	0回	0	0
2月	15日	3,586	15日	4,781	15日	68回	4,353	12,720
3月	27日	3,897	11日	2,788	27日	109回	4,588	11,273
合計	169日	26,924	71日	13,514	169日	741回	32,590	73,028

※空調設備等更新工事のため、9月1日～令和5年2月10日まで整備休館

[参考] 過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	
3	260日	29,357人	144日	12,212人	260日	31,344人	72,913人
2	255日	18,528人	144日	13,044人	231日	19,457人	51,029人
元	285日	44,816人	161日	17,019人	266日	54,079人	115,914人

※令和元年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のためプラネタリウム投映休止令和2年3月10日～31日

※令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のためプラネタリウム投映休止4月1日～5月31日、4月15日～5月18日は臨時休館

※令和3年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月27日～9月30日は臨時休館